

金沢学院大学大学院の教員養成に対する理念・構想

金沢学院大学大学院は、その設置の趣旨として、研究者の養成とあわせて、深い専門的学修に裏付けられた優れた教員を養成していくことを掲げており、こうした人材を輩出することにより、これからの中知識基盤社会における社会的貢献を企図している。

この研究者及び教員養成については、別個の学修状態として扱われる必要はなく、学部段階における学修の基礎の上に、近年大学院修士課程における教育として追求されている、科学技術の進展等社会の変化に対応し得る統合された知の基盤を築くことができるよう、課題に対する柔軟な思考能力と深い洞察に基づく行動力が兼備されるための高度の素養が涵養できるようにすること（「我が国の高等教育の将来像」より）が可能になると理解している。この観点に拠る優れた研究者像は、優れた教員像にもつながるものであり、人類のこれまでの巨大な知の蓄積に対し、硬直化した思考や暗記等による学習に陥ることなく、その知の整理・統合の手法や研究方法を身につけることにより育成される優れた研究者は、教育現場における教員としても、深く高度な専門的学識及び学習指導要領等への深い理解を背景として、社会的変化に対応する教育への要請・学習者への関心についても、また柔軟な教材指導が可能になるとを考えている。

こうした認識に立って、本大学院は、学部の新規卒業者を受け入れるとともに、過年度の卒業者、あるいは特に資質能力の向上を図ろうとする現役教員を受け入れることにしている。

各研究科の教員養成に対する理念・構想

<人文学研究科>

人文学研究科は、前述の大学院の教員養成に対する理念・構想に基づいて、「教員としての確固たる信頼を確立すべく、絶えざる自己研鑽の意欲をもち、社会の思潮の変化にも主体的に適切に対応できる心と国際感覚をもった人材の養成」をおこない、「教育に対する強い情熱をもった専門家としての確かな力量が身に付く」ように指導することを基本方針としている。

<スポーツ健康学研究科>

スポーツ健康学研究科では、わが国の現状を踏まえて平成24年度に出された「スポーツ基本計画」に基づく生涯スポーツや競技スポーツに貢献する指導者、「健康日本21」に基づく、健康づくりの推進に貢献できる人材、「新学習指導要領」に基づき、体育の充実を図り、健やかな身体と心を育成する教員養成を目標としている。

すなわち、地域住民それぞれのライフステージに応じたスポーツ活動への支援と対応ができるスポーツ推進リーダー、より優れたレベルの競技者の育成のための指導理念や発育・発達水準に応じた指導内容を明確にしてプログラムを作成し、これに基づき競技者を

育成する指導体制の構築ができる競技スポーツの指導者、学校体育・スポーツを充実させ、中学生・高校生の豊かなスポーツライフの基礎を培い、スポーツへの興味・関心を高めるとともに体力の向上を目指す教育活動のできる教員の養成を目指している。